

公孫樹プログラム 到達度チェック表（思考力編）

	中間発表		最終発表		評価基準
達成度（S～Cランクの横に○をつける）			S		自分たちの解決法を、客観的に検討しようとする姿勢が見られる。
			A		適切な情報を用いて、筋道だった思考の過程の論が立てられている。
	S		B		適切な情報を用いて、筋道だった思考の過程がある程度分かる。
	A		C		適切な情報を用いて、筋道だった思考の過程が部分的に分かる。
	B				適切な情報を用いて、筋道だった説明をしようとする試みが見られる。
	C				地域課題解決の構成が論理的でなく、思考の過程が分からない。

公孫樹プログラム 到達度チェック表（想像力編）

	中間発表		最終発表		評価基準
達成度（S～Cランクの横に○をつける）			S		先行研究の検討が見られ、自分たちのアイデアの位置づけを図ろうとする姿が見られる。
			A		自分たちのアイデアに対しての考察や検証が十分に行われている。
	S		B		自分たちなりのアイデアの試行がある。
	A		C		自分たちなりのアイデア（意見）の提示が見られる。
	B				自ら調べた情報を加えているが、大部分は叙述・記述的である。
	C				一方的に与えられた情報の羅列のみで、考察が見られない。

公孫樹プログラム 到達度チェック表【探究力編】

	中間発表		最終発表		評価基準
	○	△	○	△	
達成度 (S～C ランクの横に○をつける)		△	S		具体性に富むアイデアを作り出しながらも、地域社会に目を向け考察することができている。
		△	A		地域課題の解決に取り組み、具体性に富むアイデアを作り出そうとしている。
	S		B		地域課題を解決しようとし取り組み、情報をもとに自分たちのアイデアを作り出そうとしている。
	A		C		地域課題を解決しようとし取り組み、情報をもとにまとめることができている。
	B			△	地域課題の内容や学習の目的を達成しようとして試みているが、提案されている内容が目的を達成できるものではない。
	C			△	地域課題の内容や学習の目的を捉えていない。誤っている。

公孫樹プログラム 到達度チェック表【表現力編】

	中間発表		最終発表		評価基準
達成度 (S～Cランクの横に○をつける)			S		言葉・具体的な用語や記号、視覚的表示を正確に使用に、必要な専門情報をもらさず正確に伝えることができる。
			A		言葉・具体的な用語等を適切に用い、分かりやすくする工夫が見られる。
	S		B		課題解決で考えたこと等を伝えようとする姿勢が見られ、言葉・具体的な用語等を正確に用いて表現できている。
	A		C		課題解決で考えたこと等を伝えようとする姿勢が見られ、適切に表現できている。
	B				課題解決で考えたこと等を伝えようとする姿勢が見られるが、しばしば説明が途切れるなど情報の伝達に支障がある。
	C				課題解決で考えたこと等を伝えようとする姿勢が見られない。